

令和5年4月18日に全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われた、全国学力・学習状況調査の本校の結果と考察についてお知らせします。

**(1) 学力に関する結果・考察**

教科	全国 (平均正答率)	本校 (平均正答率)
国語	67.2%	◎
算数	62.5%	◎

※市川市では各学校の平均正答率を数値で公表しておりません。全国平均正答率(公立)と比較し、以下の記号で表記しております。

全国平均正答率に比べ、  
5ポイント以上、上回っている … ◎  
0～5ポイント未満、上回っている … ○

国語、算数とも、全国平均を5ポイント以上、上回る結果となりました。

国語科では、特に「読むこと」の力を問う問題の正答率が高い傾向が見られました。一方で、「書くこと」の力を問う問題にはやや課題があることが分かりました。国語科に限らず、全ての教科等において、自分の考えをただ書くだけではなく、相手に分かりやすく伝えるために、複数の情報を活用して表現するなど、実社会・実生活の中で生きる表現力の育成を目指して学習を進めてまいります。

算数科では、「数と計算」「データの活用」の力を問う問題の正答率が高い傾向が見られました。また、文章題から立式し、その理由を説明するなどの記述式の問題も高い正答率となっています。日頃の授業でも、自分の考えをノートに書き、友達と考えと比較検討しながら解を導くことを大切にしています。今後も引き続き、友達との対話を通して、考えが深まるような授業づくりに取り組んでまいります。



**(2) 学習状況の結果と考察**

学習への意識や生活習慣等に関する調査において、本校の特徴が見られた主な項目を紹介いたします。

【全国の割合と比べ、肯定的回答が多いもの】	【全国の割合と比べ、肯定的回答が少ないもの】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分にはよいところがある。</li> <li>○将来の夢や目標を持っている。</li> <li>○学校に行くのが楽しい。</li> <li>○新聞を読んでいる。</li> <li>○5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。</li> <li>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△毎日、同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしている。</li> <li>△読書が好き。</li> <li>△今住んでいる地域の行事に参加している。</li> <li>△地域や社会をよくするために何かしてみたい。</li> <li>△自分と違う意見について考えるのは楽しい。</li> <li>△5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器の利用頻度。</li> </ul>

日本の子供たちの自己肯定感の低さが課題となっている中、本校の児童は自分のよさを捉え、将来に向かって前向きに取り組む意識が高いことが分かりました。また、自ら課題を設定し、その解決に取り組んだり、友達と対話的に学習したりする授業について、子供たちが意欲的に取り組んでいることも分かりました。やや肯定的回答が少なかった読書への関心やICT機器の利用頻度については、学校図書館の活用や外部人材を活用した情報教育の推進等を図り、より充実した学びを行っていけるよう努めてまいります。